



株主の皆様へ

第1期中間事業報告書

Nabtesco




Contents

◆おあいさつ	1
◆事業内容	2
◆成長戦略	3
◆コア技術の融合	4
◆グループ会社のご紹介	5
◆営業の概況	7
◆連結財務諸表	9
◆ティーエスコポレーションの連結財務諸表	11
◆ナブコの連結財務諸表	12
◆グローバル・ネットワーク	13

ナブテスコ株式会社

2003年9月29日、ナブテスコ株式会社は、株式会社ナブコとティーエスコポレーション株式会社(旧社名・帝人製機株式会社)の経営統合により誕生いたしました。





代表取締役会長 岩垂 重雄

代表取締役社長 興津 誠

『空・陸・海における モーションコントロールシステム機器の 世界トップメーカー』を目指して。

株主の皆様には、平素格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。
2003年9月29日、ナブテスコ株式会社は、株式会社ナブコとティーエスコパーレーション株式会社(旧社名：帝人製機株式会社)の経営統合により誕生いたしました。

株式会社ナブコとティーエスコパーレーション株式会社は、ともに時代の変化を先取りした優秀な技術開発力で事業領域を拡大してまいりました。

両社は、機械システム及びコンポーネントメーカーとして、特定の事業分野において高いシェアと優秀なコア技術を有し、国内外でトップクラスの地位を確立しています。

ナブテスコは、この両社の強みを融合することにより、「技術シナジー」を生み出し、既存事業における競争力の強化と新事業の創出を図ってまいります。

ナブテスコグループは、『空・陸・海におけるモーションコントロールシステム機器の世界トップメーカー』を目指して、新たなチャレンジをいたします。

株主の皆様におかれましては、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



特定の分野で高いシェアを有する事業が結集。

ナブコとティーエスコパーレーションは、油圧機器の一部で重複する事業分野を持つものの、他の分野は独自に形成した特定分野で高いグローバル・シェアを有しています。両社の事業を合わせたナブテスコの事業分野は、精密機器、輸送用機器、航空・油圧機器、産業用機器の4つの事業からなります。

■精密機器



精密減速機を主力に、エレベータ巻上機、半導体製造装置用移載装置、ドライ真空ポンプ、光造形装置、熱制御デバイス、デジタルロギングシステムなど、先端分野における新事業を幅広く展開。主力の精密減速機では、産業用ロボットの関節用途で世界シェア約60%と、世界No.1の地位を確立しています。

■輸送用機器



鉄道車両においては、ブレーキ装置(国内シェア約50%)及びドア装置(国内シェア約95%)を提供しております。自動車事業においては、商用車用エアブレーキ装置、エアドライヤ(国内シェア約90%)を主力製品としています。船用事業においては、大型船舶エンジン制御システムを主製品とし、70%を超える国内シェアを確立しております。

■航空・油圧機器



フライトコントロールアクチュエーションシステム、各種アクチュエータなどの航空機器と、建設機械用の走行ユニット・油圧バルブ、風力発電機用駆動装置などの油圧機器を展開。フライトコントロールアクチュエータ分野では世界6強の1社としての地位にあり、また、油圧ショベル用走行ユニットでは、ミニショベルから大型ショベルまでを対象としており、国内シェア約40%を占めております。

■産業用機器



自動ドアと自動充填包装機を主力とし、マルチフォーミングマシン、等速ジョイント加工機などの工作機械分野を展開する他、新分野として福祉・医療関連機器でも実績を拡大。自動ドアでは、建物用自動ドアのトップメーカーの地位を確立するとともに、レトルト食品用自動充填包装機は国内シェア約80%と高い支持を得ております。

永続的な企業価値の増大を目指し、将来への成長戦略を積極的に展開。

「空・陸・海におけるモーションコントロールシステム機器の世界トップメーカー」を目指し、グループ全体の永続的な企業価値の増大を図るため、当社は以下の経営基本方針を策定いたしました。

- グローバルに活躍する高収益企業グループの形成
- 高度な専門的技術者集団による世界をリードする技術開発の促進
- 環境変化に迅速に対応する柔軟な経営組織の構築
- 強靱な財務体質の確立
- 高い透明性と企業倫理の維持

これらの着実な遂行により、グループ全体として競争力の強化、さらには将来の成長へ向けての基礎を確固たるものにすべく、様々な経営施策を積極的に展開していきます。

■ 統合効果の極大化

統合効果の極大化において「技術シナジー」の追求は特に重要です。ティーエスコポーレーションが得意とする「コンポーネント技術」とナブコが得意とする「システム技術」との融合により、次世代製品の開発と新事業・新市場への進出を加速させます。

■ 利益ある成長

シナジー効果により既存事業・既存製品をブラッシュアップするとともに、新製品・新市場への展開をはかり、高収益企業グループを目指します。

■ 事業会社への移行と経営体制の確立

「持株会社」ナブテスコを設立し2社がまず完全子会社としてその傘下に入るという第一段階が終了した今、2004年10月を目途に事業会社への移行を進める計画です。両社の強み・戦略や企業文化を相互に確認し合い、これを踏まえてグループ全体の投資効率の最適化を図り、統合効果を加速させていきます。

■ グループコンプライアンス体制の確立

グループ全体にわたるコンプライアンス体制の整備・充実を進め、信頼に基づく顧客創造、企業市民としての価値向上を図り、真のグローバル・カンパニーへと進化を遂げていきます。

これらの取り組みによりナブテスコグループは、2005年度連結売上高1,350億円を目指し、収益性、財務体質等の面においても、その改善を図っていきます。

中期経営目標

(達成目標：2005年度/すべて連結ベース)

【業績の目標】

● 売上高 1,350億円 ● 当期純利益 40億円

【財務の目標】

● ROE 9% ● ROA 3% ● D/Eレシオ 0.4

【キャッシュ・フロー】

● フリーキャッシュ・フロー（2003年度～2005年度の累計額） 200億円

ナブコが得意とする「システム技術」。ティーエスコポーレーションが得意とする「コンポーネント技術」。

ナブテスコは、「モーションコントロール」をキーワードにこの2つの技術を融合させ、

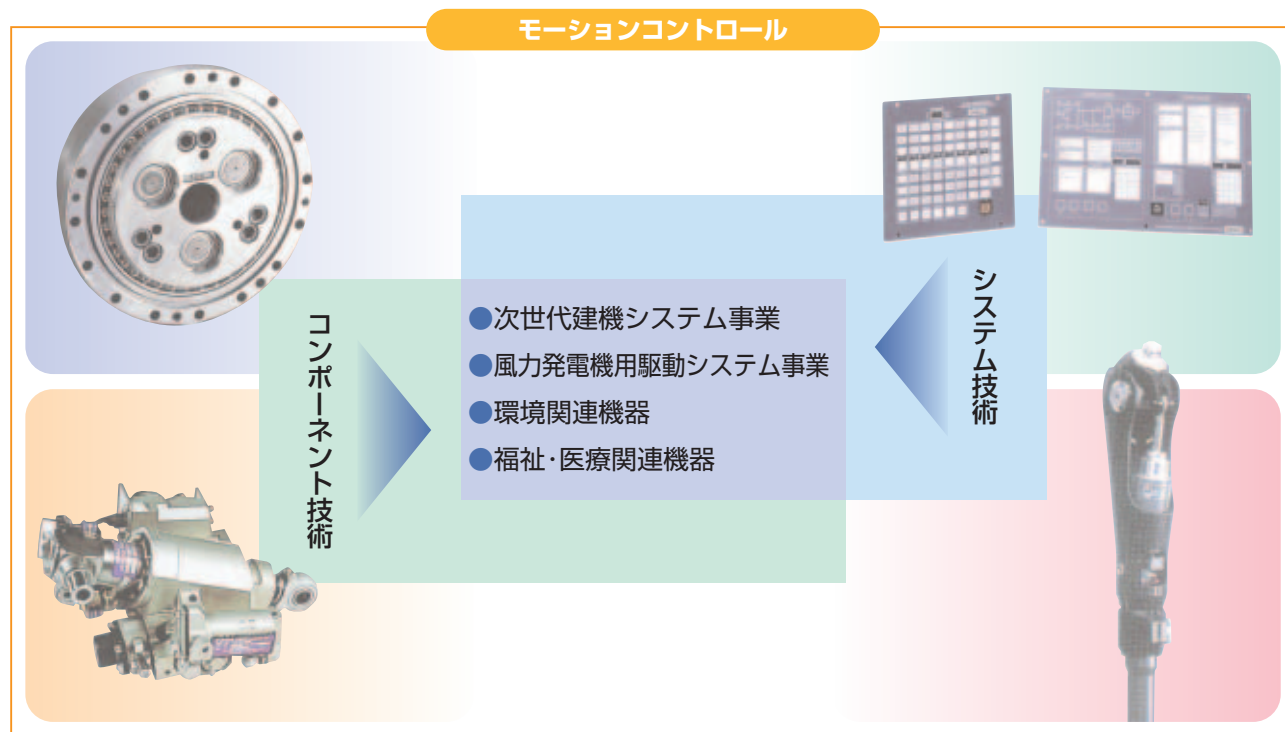
従来以上に独創性の高い製品開発を推進します。

そしてこれは、当社のグローバル競争力をさらに押し上げ、また新たな事業分野を創造し、

その結果として事業の高収益化をもたらすことが期待されます。

私どもは、独創的技術をベースとした強みが、今後の当社のチャレンジを確実な成果として結実させていくものと確信します。

コア技術の融合による強い競争力と高収益企業グループの形成





会社名 ティーエスコポーレーション株式会社
 設立 1944年8月18日
 従業員数 884名(単体) 2,130名(連結)
 資本金 66億円

役員

■取締役会

代表取締役社長 田中 均
 取締役 松本 和幸
 取締役 中村 秀一
 取締役(ナブテスコ(株) 代表取締役社長) 興津 誠
 取締役(ナブテスコ(株) 専務取締役) 山田 義親
 取締役(ナブテスコ(株) 常務取締役) 山中 盛男
 社外取締役(帝人(株) 代表取締役副社長) 長島 徳明
 社外取締役(ナブテスコ(株) 専務取締役) 野依 辰彦

■監査役会

常勤監査役 松田 孝介
 監査役 石丸 哲也
 監査役 余頃 文昭

■業務執行体制

最高経営執行責任者 田中 均
 執行役員(航空・油機カンパニー副社長(航空機担当)
 兼エス・ティ・エス(株) 代表取締役社長) 岡本 正巳
 執行役員(東洋自動機(株) 代表取締役社長) 佐々木 慧
 執行役員(技術開発室室長 兼PL委員会委員長
 兼ティーエスヒートロニクス(株) 代表取締役社長) 松本 和幸
 執行役員(精機カンパニー社長) 梶山 立平
 執行役員(総務人事室長 兼人事勤労部長) 中村 秀一
 執行役員(航空・油機カンパニー副社長(油機担当)) 坪内 繁樹
 執行役員(技術開発室横浜開発センター所長) 小林 盛男
 執行役員(ログジット(株) 代表取締役社長) 立古 史朗
 執行役員(シーメット(株) 代表取締役社長) 佐原 健

■沿革

1944年 帝国人造絹絲株式会社(現 帝人株式会社)より分離独立、
 帝人航空工業株式会社となる(山口県岩国市)
 1945年 帝人製機株式会社と社名を変更 繊維機械の製造を開始、繊維機械事業へ進出
 1949年 東京証券取引所(市場第一部)に上場 本社を大阪市に移転
 1954年 東京出張所開設
 1955年 航空機部品製作再開、航空機器事業へ進出
 1959年 工作機械製作開始、工作機械事業へ進出
 松山製作所開設(現 TMTマシナリー株式会社松山工場)
 1961年 垂井工場開設(現 岐阜第二工場) 油圧機器製作開始、油圧機器事業へ進出
 1966年 東洋自動機株式会社を設立
 1971年 岐阜工場開設(現 岐阜第一工場)
 大亜真空株式会社を設立
 1975年 インドネシアのジャカルタ市に、現地法人P.T. Pamindo Tiga Tを設立
 1976年 米ワシントン州に、現地法人Teijin Seiki America Inc.
 (現 Nabtesco Aerospace Inc.)を設立
 1982年 米サントストランド社との合併で、エス・ティ・エス株式会社を設立
 1991年 津工場開設
 米マサチューセッツ州に、現地法人Teijin Seiki Boston Inc.
 (現 Harmonic Drive Technologies Nabtesco Inc.)を設立
 1992年 独デュッセルドルフ市に、現地法人Teijin Seiki Europe GmbH
 (現 Nabtesco Precision Europe GmbH)を設立
 1993年 横浜開発センターを開設
 1995年 帝人製機プレジジョン株式会社
 (現 ティーエス プレジジョン株式会社)を設立、工作機械事業を同社へ移管
 1996年 中国上海市に、合併会社上海帝人製機有限公司(油圧機器の製造販売)
 (現 上海納博特斯克液压有限公司)を設立
 1999年 ティーエス ヒートロニクス株式会社を設立
 米ミシガン州に、現地法人Teijin Seiki Advanced Technologies Inc.
 (現 Nabtesco Precision USA Inc.)を設立
 本社を大阪から東京に移転 ログジット株式会社を設立
 米デラウェア州に、現地法人Teijin Seiki USA Inc.(現 Nabtesco USA Inc.)を設立
 2000年 帝人製機テキスタイルマシナリー株式会社(現 TSTM株式会社)を設立、
 繊維機械事業を同社に移管
 中国上海市に、合併会社上海帝人製機紡織有限公司(繊維機械の製造販売)
 (現 上海鉄美機械有限公司)を設立 シーメット株式会社を設立
 2002年 東レエンジニアリング株式会社および村田機械株式会社との合併で、
 TMTマシナリー株式会社を設立、合繊機械事業を同社に移管
 2003年 株式会社ナブコとともに持株会社「ナブテスコ株式会社」を設立、完全子会社となる
 ティーエスコポーレーション株式会社と社名を変更

NABCO

沿革

- 1925年 株式会社神戸製鋼所、発動機製造株式会社、東京瓦斯電気工業株式会社の3社により、神戸市脇浜町1丁目31番地に日本エヤーブレーキ株式会社を設立(資本金30万円)し、鉄道車両用エアブレーキ装置の製造、販売を開始
- 1925年 東京出張所(後に東京事務所と改称)を東京都千代田区に設置
- 1926年 本社・工場を神戸市脇浜海岸通5番地に移転
- 1933年 自動車用オイルブレーキ装置の製造、販売を開始
- 1937年 自動車用エアブレーキ装置の製造、販売を開始
- 1938年 本社・工場(現、神戸工場)を神戸市葦合区脇浜町3丁目2058番地(現、神戸市中央区脇浜 海岸通1番46号)に移転
- 1943年 社名を日本制動機株式会社と改称
- 1946年 社名を日本エヤーブレーキ株式会社と改称
- 1949年 油圧機器の製造、販売を開始
- 1949年 大阪証券取引所(現、市場第一部)に上場
- 1953年 車両及び建物用自動扉装置の製造、販売を開始
- 1961年 横須賀工場を新設(自動車用オイルブレーキ装置の製造)
- 1963年 船用制御装置の製造、販売を開始
- 1964年 明石工場を新設(油圧及び空気圧機器の製造)
- 1968年 甲南工場を新設
- 1970年 西神戸工場(現、西神工場)を新設(油圧及び空気圧機器の製造)
- 1972年 明石工場を閉鎖し、西神工場に統合
- 1974年 東京事務所(現、東京支社)を東京都港区に移転
- 1974年 本社事務所を神戸市葦合区(現在は中央区と改称)御幸通に設置
- 1984年 ロバート・ボッシュ社(ドイツ)との合併により日本エービーエス株式会社を設立
- 1985年 東京証券取引所(市場第一部)に上場
- 1986年 デトロイト事務所(米国)を設置
- 1991年 山形工場を新設(自動車用オイルブレーキ装置の製造)
- 1992年 社名を株式会社ナブコと改称
- 1992年 ランソンインダストリーズ・グループ(米国)を買収(建物用自動扉装置の製造、販売)
- 1993年 ナブコメヒカーナ社(メキシコ)を設立(自動車用オイルブレーキ装置の製造、販売)
- 1995年 本社事務所を神戸市中央区磯上通に移転
- 1995年 建物用自動扉装置の製造を神戸工場より、甲南工場へ移管
- 1997年 総合技術センターを新設
- 1998年 神戸工場(神戸市西区)を新設し、旧神戸工場を移管(鉄道車両用ブレーキ装置の製造)
- 1999年 乗用車用オイルブレーキ事業をボッシュブレーキシステム株式会社に譲渡し、横須賀工場を 同社に移管するとともに日本エービーエス株式会社の株式を同社に売却。
- 2001年 ナブコメヒカーナ社(メキシコ)をロバートボッシュコーポレーションに譲渡
- 2001年 本社及び本社事務所を神戸市西区高塚台に移転
- 2003年 帝人製機株式会社(現 ティーエスコーパーレション株式会社)とともに持株会社「ナブテスコ株式会社」設立、完全子会社となる

会社名	株式会社ナブコ
設立	1925年3月5日
従業員数	1,133名(単体) 1,622名(連結)
資本金	86億円

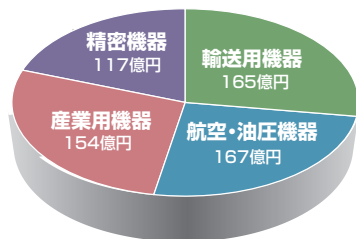
役員

代表取締役社長	本田 侑三
常務取締役 執行役員	生田 満穂
常務取締役 執行役員	麻生 輝清
常務取締役 執行役員	秋山 晋一
常務取締役 執行役員	吉田 興四郎
取締役 執行役員	阿部 裕
取締役(ナブテスコ(株)代表取締役会長)	岩垂 重雄
社外取締役(ナブテスコ(株)専務取締役)	山田 義親
常任監査役(常勤)	萩原 茂明
監査役(常勤)	船井 孝祐
監査役	今井 一雅
執行役員	川西 正則
執行役員	牧村 昌太郎
執行役員	森本 秀行
執行役員	井上 陽一

営業の概況

当中間期の数値はナブテスコの連結財務数値ですが、
過去データについては、2社の連結財務数値の単純合算数値となっております。

■売上高構成比



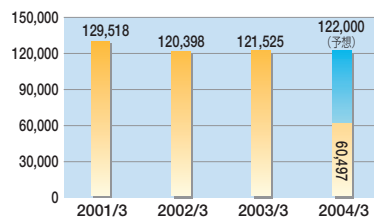
■主な経営指標の推移

(百万円)

	2001/3	2002/3	2003/3	2003/9
売上高	129,518	120,398	121,525	60,497
営業利益	2,972	2,925	6,025	3,687
経常利益	2,273	2,239	5,296	3,867
中間(当期)純利益	△2,570	△4,170	1,892	1,715
総資産	146,431	130,542	128,738	129,760
株主資本	43,935	41,415	42,410	44,770

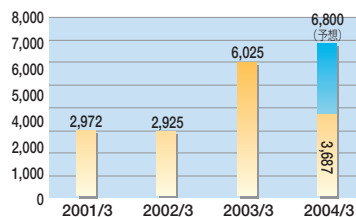
売上高

(百万円)



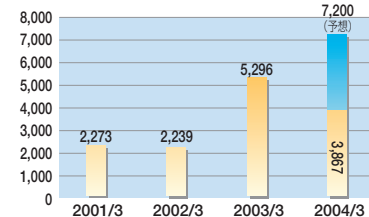
営業利益

(百万円)



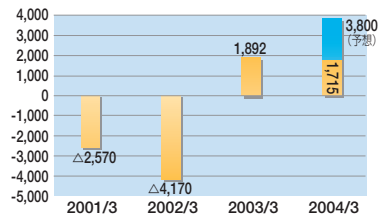
経常利益

(百万円)



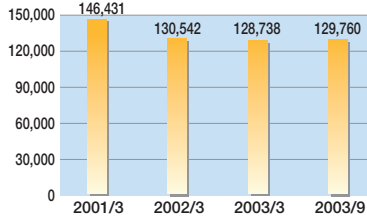
中間(当期)純利益

(百万円)



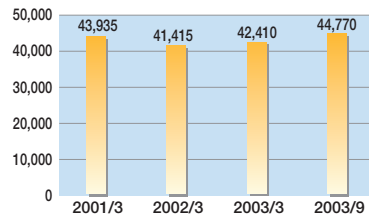
総資産

(百万円)



株主資本

(百万円)



■精密機器

売上高は前年同期比26億円増加(前年同期比29.2%増)の117億円、営業利益は前年同期比10億円増加(前年同期比214.3%増)し14億円となりました。

精密減速機はロボット用については国内外自動車メーカーの設備投資が活況となり、工作機械向け減速機についても回復傾向が見られ好調に推移しました。

新事業においてもIT不況を脱する回復傾向が見受けられ売上を伸ばしました。

■輸送用機器

売上高は前年同期比15億円増加(前年同期比10.0%増)の165億円、営業利益は前年同期とほぼ同じの4億円となりました。

鉄道車両分野では、鉄道車両の国内需要が引き続き低水準で推移するなかで、JR向けは、通勤電車向けにブレーキ・ドア装置を拡販することができましたが、新幹線向けは、新造車両の製作がピークを過ぎ減少しました。輸出は中国北京近郊線、天津および武漢向けブレーキ装置の売上が増加し売上増を果たすことができました。

自動車用ブレーキ分野では、トラック・バスなどの商用車需要が、ディーゼル車環境規制への対応を契機として上昇に転じ、売上が増加しました。

船用エンジン制御システムについては、韓国向けの売上が増加したものの、国内向けが減少したことから前年同期並の売上となりました。

■通期の見通し

2003年度下半期の事業環境は、海外市場においては米国をはじめとする世界経済の先行きについて回復傾向が見られますが、その持続性について必ずしも楽観できる状況にはありません。

一方、国内市場は設備投資の回復に牽引され、総体的に回復傾向で推移するものと予想されますが、最近の急激な円高は不安材料のひとつになっております。このような状況の下、当社グループは、

■航空・油圧機器

売上高は前年同期比12億円増加(前年同期比7.9%増)の167億円、営業利益は前年同期比2億円減少(前年同期比17.1%減)の9億円となりました。

航空機器は、米国同時テロ事件以降の民間航空業界の顧客減少が本格的には回復せず、ボーイング社等の機体用ならびに補用品等のアフターマーケットビジネスともに売上が減少し、収益性が低下しました。油圧機器は国内建設機械向けの需要は底を打ち上昇に転じました。海外市場では、特に中国市場における建設機械の需要が旺盛で、ショベル用走行ユニット、ミニショベル専用バルブを小型ショベルや農業機械用に拡販でき、大幅な売上増となりました。

■産業用機器

売上高は前年同期比20億円減少(前年同期比11.7%減)の154億円となり、営業利益は前年同期比2億円増加(前年同期比45.5%増)の8億円となりました。

自動ドア関連分野については、建設投資が引き続き低迷し厳しい状況となるなかで、首都圏再開発プロジェクトが一段落し、大型回転ドアの売上が減少しました。

繊維機械は、化合繊維機械事業を持分法適用会社「TMTマシナリー(株)」に移管したため、売上高は前年同期に比べ減少しました。

産業機械は、国内外食品業界・自動車業界の設備投資が回復し、食品用自動充填包装機械・工作機械の売上高が増加しました。

福祉関連分野では、新たに市場投入したマイコンレス空圧制御の義足「NK-1」が順調に売上を伸ばしました。

新事業の売上拡大、新製品の上市および開発の加速を図るとともに、コストダウンに注力してまいります。

2003年度の業績見通しにつきましては、売上高は1,220億円、営業利益68億円、経常利益72億円、当期純利益38億円の見込であり、ROEは約8.7%を予測しております。

連結財務諸表

当中間期の数値はナブテスコの連結財務数値ですが、
過去データについては、2社の連結財務数値の単純合算数値となっております。

■中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当中間期 (H15.9.30現在)	前 期 (H15.3.31現在)	前中間期 (H14.9.30現在)
資産の部			
流動資産	69,101	68,875	65,487
現金及び預金	8,621	7,459	9,098
受取手形及び売掛金	37,767	41,809	37,022
たな卸資産	14,167	14,281	16,454
その他	8,545	5,324	2,911
固定資産	60,659	59,863	62,374
有形固定資産	43,980	45,276	46,354
建物及び構築物	17,104	17,480	17,961
機械装置及び運搬具	9,160	10,221	10,613
土地	14,990	14,990	15,063
その他	2,725	2,583	2,716
無形固定資産	1,892	1,810	1,789
投資その他の資産	14,785	12,776	14,229
投資有価証券	7,742	4,920	5,744
その他	7,043	7,856	8,485
繰延資産	—	—	46
資産合計	129,760	128,738	127,907

(単位：百万円)

	当中間期 (H15.9.30現在)	前 期 (H15.3.31現在)	前中間期 (H14.9.30現在)
負債の部			
流動負債	46,915	47,757	45,954
支払手形及び買掛金	23,916	24,615	21,071
短期借入金	13,499	13,998	16,891
その他	9,498	9,143	7,991
固定負債	34,847	35,450	36,737
社債	5,000	5,000	5,000
長期借入金	15,826	17,585	19,227
その他	14,019	12,864	12,510
(負債の部計)	81,763	83,208	82,691
少数株主持分	3,226	3,120	3,037
資本の部			
資本金	10,000	15,226	15,226
資本剰余金	17,658	12,605	12,605
利益剰余金	16,167	14,937	14,582
(内、中間(当期)純利益)	(1,715)	(1,892)	(1,262)
その他有価証券評価差額金	1,646	351	485
為替換算調整勘定	△654	△691	△714
自己株式	△47	△19	△7
(資本の部計)	44,770	42,410	42,178
負債、少数株主持分及び資本合計	129,760	128,738	127,907

■財務ポジション

売上債権が売上高の増加に伴い増加したほか、手許流動性資金(預け金を含む)を増加させたこと等により、当中間期末の総資産は前年同期末比18億円増の1,297億円となりました。一方、当中間期末の有利子負債は343億円となり、前年同期末比68億円減少しました。また、剰余金の積み増し等により、

株主資本が前年同期末比25億円増の447億円となり、その結果、株主資本比率は前年同期末よりも1.6ポイント向上し、34.5%となりました。

当中間期の数値はナブテスコの連結財務数値ですが、
過去データについては、2社の連結財務数値の単純合算数値となっております。

■中間連結損益計算書

科 目	当中間期	前 期	前中間期
	(H15.4.1~H15.9.30)	(H14.4.1~H15.3.31)	(H14.4.1~H14.9.30)
売上高	60,497	121,525	57,150
売上原価	46,927	96,501	45,233
(売上総利益)	13,569	25,023	11,916
販売費及び一般管理費	9,882	18,997	9,270
営業利益	3,687	6,025	2,645
営業外収益	868	924	431
(内、持分法による投資利益)	(436)	(102)	(16)
営業外費用	688	1,654	895
経常利益	3,867	5,296	2,181
特別利益	144	1,676	1,196
特別損失	1,306	3,394	563
税金等調整前中間(当期)純利益	2,705	3,577	2,814
法人税、住民税及び事業税	1,320	890	410
法人税等調整額	△463	506	961
少数株主利益	133	287	180
中間(当期)純利益	1,715	1,892	1,262
資本剰余金の部			
資本剰余金期首残高	17,904	12,605	12,605
資本剰余金中間期末(期末)残高	17,658	12,605	12,605
利益剰余金の部			
利益剰余金期首残高	14,937	13,637	13,637
利益剰余金増加高	1,715	1,892	1,262
中間(当期)純利益	1,715	1,892	1,262
利益剰余金減少高	485	592	316
配当金	437	432	235
取締役賞与金	48	25	25
その他	—	134	55
利益剰余金中間期末(期末)残高	16,167	14,937	14,582

■中間連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	当中間期	前 期	前中間期
	(H15.4.1~H15.9.30)	(H14.4.1~H15.3.31)	(H14.4.1~H14.9.30)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前中間(当期)純利益	2,705	3,577	2,814
減価償却費	2,131	5,011	2,404
その他	4,166	1,062	△1,154
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,002	9,652	4,064
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△1,982	△3,425	△1,591
その他	159	3,550	3,470
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,823	124	1,878
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純減少額	△850	△7,817	△3,951
長期借入金の借入れによる収入	194	5,530	5,400
長期借入金の返済による支出	△1,629	△3,886	△3,070
自己株式の取得による支出	△29	△16	△4
配当金の支払額	△434	△432	△234
少数株主への配当金の支払額	△39	△53	△30
その他	144	—	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,643	△6,677	△1,892
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	59	△23	△80
V 現金及び現金同等物の増減額	4,595	3,075	3,971
VI 現金及び現金同等物の期首残高	7,929	4,854	4,854
VII 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	12,525	7,929	8,825

■損益の状況

当社の当中間期の連結業績は、ティーエスコポレーション(株)と(株)ナブコ両社の中間連結業績に、当社の設立(9月29日)から中間期末日(9月30日)までの中間単独業績を加えたものとなります。以上の結果による当中間期の連結業績は、売上高604億円、営業利益36億円、経常利益38億円となりました。特別損失として、退職給付引当金繰入額11億円などにより、中間純利益は17億円となりました。

■キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローはプラス90億円となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、19億円の設備投資を実施したため、マイナス18億円となりました。この結果、フリーキャッシュ・フローはプラス71億円となりました。これに対し、財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済、配当金支払等によりマイナス26億円となり、現金および現金同等物の当中間期末残高は125億円となりました。また、借入金・社債等の残高は343億円となりました。

■ 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当中間期 (H15.9.30現在)	前 期 (H15.3.31現在)	前中間期 (H14.9.30現在)
資産の部			
流動資産	34,695	33,154	28,064
現金及び預金	2,442	2,754	1,792
受取手形及び売掛金	16,580	18,914	14,403
たな卸資産	8,233	8,579	10,637
その他	7,440	2,906	1,231
固定資産	27,269	27,279	28,121
有形固定資産	21,805	22,893	23,319
建物及び構築物	7,866	8,053	8,311
機械装置及び運搬具	6,064	6,986	7,126
土地	6,525	6,525	6,525
その他	1,349	1,328	1,356
無形固定資産	1,001	1,007	973
投資その他の資産	4,462	3,377	3,828
投資有価証券	2,289	1,235	1,125
その他	2,173	2,142	2,703
資産合計	61,965	60,433	56,186

(単位：百万円)

	当中間期 (H15.9.30現在)	前 期 (H15.3.31現在)	前中間期 (H14.9.30現在)
負債の部			
流動負債	28,118	29,472	26,034
支払手形及び買掛金	13,299	14,381	11,284
短期借入金	8,895	9,426	10,021
その他	5,923	5,664	4,728
固定負債	12,756	11,546	11,212
社債	5,000	5,000	5,000
長期借入金	289	377	501
その他	7,466	6,169	5,711
(負債の部計)	40,875	41,019	37,247
少数株主持分	1,166	1,068	1,024
資本の部			
資本金	6,695	6,623	6,623
資本準備金	6,359	6,287	6,287
利益剰余金	7,177	6,047	5,613
(内、中間(当期)純利益)	(1,357)	(1,569)	(859)
その他有価証券評価差額金	324	65	86
為替換算調整勘定	△634	△671	△692
自己株式	—	△6	△2
(資本の部計)	19,922	18,345	17,914
負債、少数株主持分及び資本合計	61,965	60,433	56,186

■ 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (H15.4.1~H15.9.30)	前 期 (H14.4.1~H15.3.31)	前中間期 (H14.4.1~H14.9.30)
売上高	32,260	66,221	30,439
売上原価	24,307	52,255	23,610
売上総利益	7,953	13,966	6,829
営業利益	2,707	3,842	1,940
経常利益	2,988	3,502	1,711
税金等調整前中間(当期)純利益	1,880	2,475	1,922
中間(当期)純利益	1,357	1,569	859

■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (H15.4.1~H15.9.30)	前 期 (H14.4.1~H15.3.31)	前中間期 (H14.4.1~H14.9.30)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	5,100	5,637	1,614
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,307	△772	656
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△722	△2,717	△1,776
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	59	△6	△63
V 現金及び現金同等物の増加額	3,130	2,140	431
VI 現金及び現金同等物の期首残高	3,510	1,370	1,370
VII 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	6,640	3,510	1,801

■ 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当中間期 (H15.9.30現在)	前 期 (H15.3.31現在)	前中間期 (H14.9.30現在)
資産の部			
流動資産	34,792	35,721	37,422
現金及び預金	6,178	4,705	7,305
受取手形及び売掛金	21,411	22,894	22,619
たな卸資産	5,942	5,702	5,817
その他	1,259	2,418	1,680
固定資産	33,386	32,584	34,252
有形固定資産	22,175	22,382	23,035
建物及び構築物	9,238	9,427	9,650
機械装置及び運搬具	3,095	3,235	3,486
土地	8,465	8,465	8,538
その他	1,375	1,254	1,359
無形固定資産	891	803	816
投資その他の資産	10,319	9,398	10,400
投資有価証券	5,452	3,684	4,618
その他	4,866	5,714	5,782
繰延資産	—	—	46
資産合計	68,179	68,305	71,721

(単位：百万円)

	当中間期 (H15.9.30現在)	前 期 (H15.3.31現在)	前中間期 (H14.9.30現在)
負債の部			
流動負債	18,707	18,285	19,919
支払手形及び買掛金	10,842	10,234	9,786
短期借入金	4,603	4,572	6,870
その他	3,259	3,479	3,263
固定負債	22,090	23,903	25,524
長期借入金	15,536	17,208	18,726
その他	6,553	6,695	6,798
(負債の部計)	40,797	42,188	45,444
少数株主持分	2,059	2,051	2,012
資本の部			
資本金	8,602	8,602	8,602
資本準備金	6,318	6,318	6,318
利益剰余金	9,081	8,890	8,969
(内、中間(当期)純利益)	(448)	(322)	(402)
その他有価証券評価差額金	1,339	286	399
為替換算調整勘定	△20	△20	△21
自己株式	—	△12	△4
(資本の部計)	25,321	24,064	24,264
負債、少数株主持分及び資本合計	68,179	68,305	71,721

■ 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (H15.4.1~H15.9.30)	前 期 (H14.4.1~H15.3.31)	前中間期 (H14.4.1~H14.9.30)
売上高	28,487	55,303	26,710
売上原価	22,863	44,245	21,623
売上総利益	5,624	11,057	5,086
営業利益	1,074	2,183	704
経常利益	918	1,793	469
税金等調整前中間(当期)純利益	918	1,102	891
中間(当期)純利益	448	322	402

■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (H15.4.1~H15.9.30)	前 期 (H14.4.1~H15.3.31)	前中間期 (H14.4.1~H14.9.30)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	3,902	4,014	2,450
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△515	896	1,222
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,921	△3,959	△115
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△16	△17
V 現金及び現金同等物の増加額	1,465	935	3,539
VI 現金及び現金同等物の期首残高	4,419	3,484	3,484
VII 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	5,884	4,419	7,023

全世界を舞台にしたグローバルなネットワークを展開。



国内主要工場

Main Domestic
Factories



神戸工場 (NABCO)



岐阜第一工場
(TS Corporation)



西神工場 (NABCO)



津工場
(TS Corporation)



山形工場 (NABCO)



岐阜第二工場
(TS Corporation)



甲南工場 (NABCO)

国内主要子会社

Main Domestic
Subsidiaries



東洋自動機株式会社



大亜真空株式会社



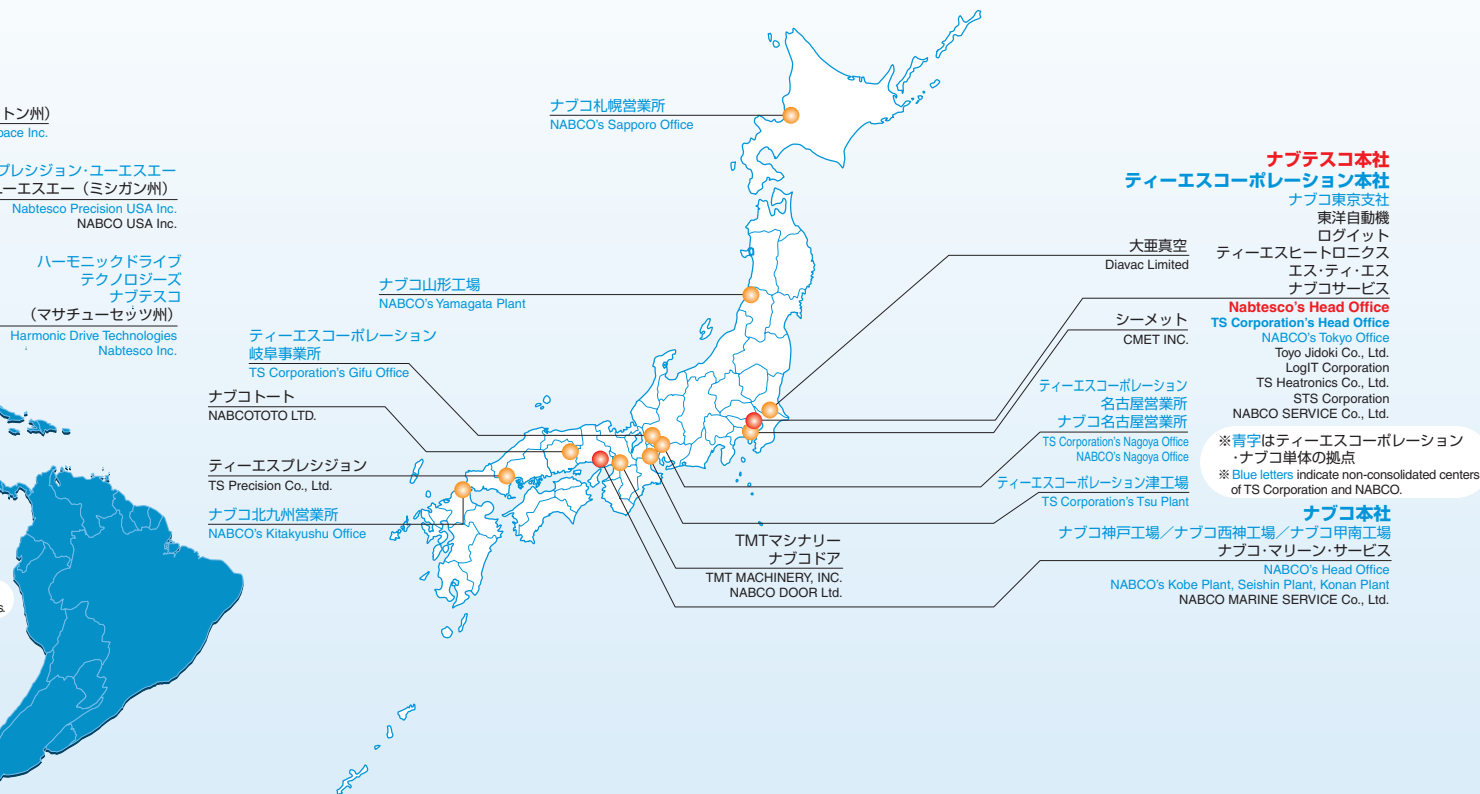
ティーエス プレシジョン
株式会社



エス・ティ・エス株式会社



ナブコドア株式会社



ナブコサービス株式会社

国外主要子会社
Main Overseas Subsidiaries



Nabtesco Precision Europe GmbH



上海納博特斯克液圧有限公司



P.T.PAMINDO TIGA T



NABMIC B.V.



NABCO ENTRANCES, INC.



ナブコトート株式会社



Nabtesco Aerospace Inc.



Nabtesco Precision USA Inc.



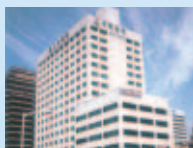
Harmonic Drive Technologies Nabtesco Inc.



中建納博克自動門有限公司



NABCO ENGINEERING LTD.



NABCO MARINETEC CO., LTD.

■会社概要 (2003年9月30日現在)

会社名	ナブテスコ株式会社
設立	2003年9月29日
所在地	東京都港区海岸1丁目9番18号
資本金	100億円
従業員数	ナブテスコ(株) 85人 グループ連結 3,837人
連結子会社	国内 16社(他持分法適用会社 2社) 海外 9社

役員構成

【取締役会】	代表取締役会長	岩垂 重雄	
	代表取締役社長	興津 誠	
	専務取締役	野依 辰彦	
	専務取締役	山田 義親	
	常務取締役	山中 盛男	
	取締役	佐和 博	
	取締役	本田 侑三	(株)ナブコ代表取締役社長
	取締役	田中 均	ティーエスコポレーション(株)代表取締役社長
	社外取締役	高田 治	(株)神戸製鋼所顧問役
	社外取締役	長島 徳明	帝人(株)代表取締役副社長

【監査役会】	常勤監査役	萩原 茂明	
	常勤監査役	松田 孝介	
	監査役	船井 孝祐	(株)ナブコ常勤監査役
	監査役	石丸 哲也	帝人エンジニアリング(株)取締役
	監査役	柴山 高一	税理士法人中央青山顧問

【業務執行体制】	最高経営責任者	興津 誠	
	専務執行役員	野依 辰彦	技術本部長
	専務執行役員	山田 義親	技術副本部長
	常務執行役員	本田 侑三	(株)ナブコ代表取締役社長 建築事業部長
	常務執行役員	山中 盛男	企画本部長
	常務執行役員	田中 均	ティーエスコポレーション(株)代表取締役社長 航空・油機カンパニー社長
	常務執行役員	生田 満穂	(株)ナブコ常務取締役 自動車事業部長
	執行役員	有木 豊	ナブコドア(株)代表取締役社長
	執行役員	岡本 正巳	ティーエスコポレーション(株)前空 油機カンパニー副社長(航空機担当) 兼 エス・ティ・エス(株)代表取締役社長

執行役員	佐々木 慧	東洋自動機(株)代表取締役社長
執行役員	麻生 輝清	(株)ナブコ常務取締役 東京支社長
執行役員	秋山 晋一	油機統括、(株)ナブコ常務取締役 機械制御システム事業部長
執行役員	松本 和幸	ティーエスコポレーション(株)取締役 技術開発室長 兼 PL委員会委員長 兼 ティーエス ヒートロニクス(株)代表取締役社長

執行役員	大下 邦男	ナブコサービス(株)代表取締役社長
執行役員	兎山 立平	ティーエスコポレーション(株)精機カンパニー社長
執行役員	吉田興四郎	(株)ナブコ常務取締役 車両事業部長
執行役員	阿部 裕	(株)ナブコ取締役 管理部長
執行役員	佐和 博	総務・人事本部長 総務部長
執行役員	中村 秀一	人事部長、ティーエスコポレーション(株)取締役 総務人事室長兼人事労務部長

執行役員	坪内 繁樹	油機副統括、 ティーエスコポレーション(株)前空・油機カンパニー副社長(油機担当) 兼 岐阜第2工場長
------	-------	---

■株主メモ

- ◆決算期
3月31日
- ◆定時株主総会
毎年6月
- ◆基準日
定時株主総会、利益配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- ◆1単元の株式数
1,000株
- ◆公告掲載新聞
日本経済新聞
当社は決算公告に代えて、貸借対照表ならびに損益計算書を当社のホームページに掲載します。
当社のホームページアドレス
<http://www.nabtesco.com/jp/ir/kessan.html>
- ◆上場証券取引所
東京証券取引所 市場第一部
- ◆株式の名義書換
(1)名義書換代理人
東京都港区芝3丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
- (2)同事務取扱所
〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
電話03-3323-7111(代表)
- (3)同取次所
中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

〈お知らせ〉

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-87-2031で24時間受付しております。

Nabtesco Corporation

〒105-0022 東京都港区海岸1丁目9番18号
Tel.03-3578-7070 Fax.03-3578-7237

証券コード：6268